

稲作情報 No.19

令和6年8月27日

コシヒカリ登熟状況、大豆管理

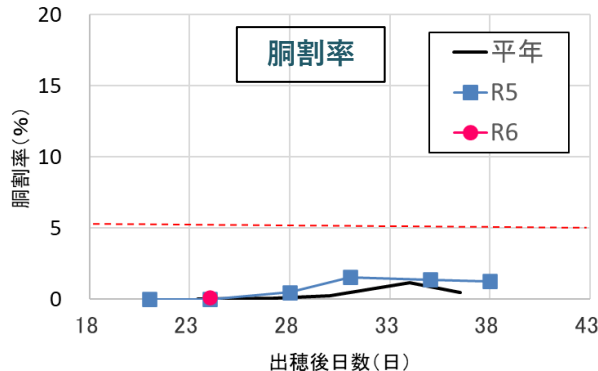
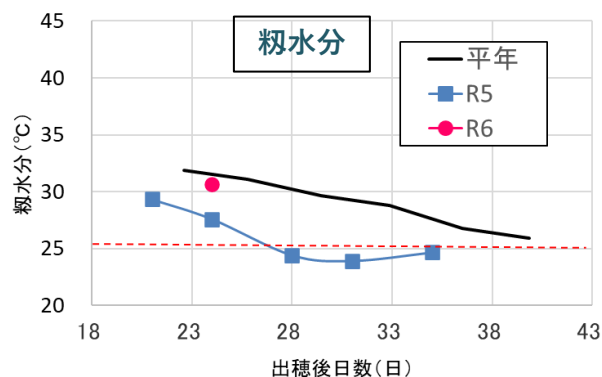
水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会 [作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会]

台風10号が接近しています。今後の台風の進路次第で天候も大きく変化します。**天気予測および圃場の状態をこまめに確認し、適切な水管理を実施しましょう。**

コシヒカリは**平年よりもやや低い籾水分**になっています。各圃場の籾水分を確認し、適期収穫を実施しましょう
大豆圃場では、**ダイズカメムシ類の発生が多くなっています**。適切な防除を実施しましょう。

【農業試験場の登熟状況・成熟期予測】

● 登熟状況 5月20日移植 コシヒカリ



● コシヒカリ成熟期予測

移植日 5月20日
出穂期 8月2日
成熟期予測 9月7日

出穂後の積算気温1020℃ (福井米技術対策資料)
福井地方気象台(福井市観測値)平年値+2℃で予測

- * 今後の気象条件によって変動する
- * 登熟の進み方には地域差がある
- * 葉色が薄いところは成熟期が早まりやすい

【農業試験場の大豆】

● 現在莢伸長期～子実肥大初期 (6月7日播種)



【ダイズカメムシ類】

● 発生が多い傾向(平年・前年より多い)



ホソヘリカメムシ



イチモンジカメムシ



アオクサカメムシ

子実を吸汁加害し、不稔や減収・品質低下を引き起こす。
発生が多いと青立ちの要因にもなる。

侵入始めの8月下旬と、発生最盛期の9月中旬の2回防除が基本
莢に農薬を付着させることを心がける